

【ポスター発表】

誰もが利用することができる地域拠点の特徴に関する考察

ーコミュニティカフェ利用者調査からー

○ 日本社会事業大学 倉持 香苗 (5372)

キーワード：コミュニティカフェ、地域拠点、地域における住民の支え合い

1. 研究目的

本研究の目的は、地域における住民の活動拠点の一つとしての可能性を持つコミュニティカフェの特徴を明らかにすることである。

地域には、法制度では対応しきれない課題が山積している。厚生労働省（2008）は『地域における「新たな支え合い」を求めてー住民と行政の協働による新しい福祉ー』において、地域における住民の主体的な活動を重視し、その活動を推進するためには住民の活動拠点が不可欠であると述べている。また、全国社会福祉協議会（2012）は『社協・生活支援活動強化方針』において、地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた活動の一つとして地域のつながりの再構築を掲げているなど、地域において住民が支え合う関係を構築することが求められている。

本研究ではこうした背景をもとに、誰もが利用することができる地域拠点としてのコミュニティカフェに着目しその特徴を見出しながら、地域拠点を設置する意義を考察する。

2. 研究の視点および方法

これまで報告者は、福祉コミュニティ形成における地域拠点の現状と課題を明らかにするためにコミュニティカフェ全国調査を実施したほか、スタッフのアプローチ内容について明らかにした（倉持 2014）。また、コミュニティカフェのスタッフから捉えたコミュニティカフェのみならず、利用者（客）および住民から捉えたコミュニティカフェの存在意義を明らかにするために、コミュニティカフェ事例調査を実施した。

事例調査では、アンケート調査の質問項目に対する回答に留まらず、自由記述欄の記入および参与観察において、地域拠点の存在意義について語られる（記入される）ことが少なくなかった。すなわちコミュニティカフェのスタッフ、利用者（客）、住民から聴かれた声は、コミュニティカフェを利用する理由あるいはコミュニティカフェに期待する声であると考えられた。また、こうした場所の特徴を示しているとも受け止められた。

本報告では、2012年度から2014年度にかけて実施したコミュニティカフェ調査の中からアンケート調査およびインタビュー調査に焦点を当て、その内容に関する分析をおこない、コミュニティカフェの利用理由を明らかにしながら、誰もが利用することができる地域拠点の特徴について考察する。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会研究倫理指針を遵守している。アンケート調査実施の際には、コミュニティカフェ名の記載は自由記入とし、名称の記載を調査対象者に委ねた。またインタビュー調査実施の際にはコミュニティカフェ運営者および利用者に本研究の趣旨および秘密保持に関する説明をおこない同意を得た。

4. 研究結果

地域拠点は、制度に基づくすなわち高齢者や子どもなど利用者層が限定されている場所や、非営利でありながらも誰もが利用することができる場所など様々である。本研究は、利用者層を限定しない場所に焦点を当て研究をおこなったものである。

誰もが利用することができる地域拠点の特徴として、自由に過ごすことができる、共にその場所を創ることができるという点が多く挙げられた。共にその場所を創ることができるという点については、自らも何らかの役割を担っているあるいは特技を生かすことができるというように、サービスを受けるという立場ではなく主体的に場づくりに関わることができるという点が強調された。自由に過ごすという点については、自由に出入りができるという意味のほか、一人一人が自由に過ごすことができるという意味が含まれていた。

また、見知らぬ人と同じ空間で過ごしながらか互いに知り合える点も挙げられた。とりわけ誰もが利用することができる場所の特徴として、多世代だからこそ知り合いになることが楽しみであり、話しやすい（例えば子育て支援の場など同じ環境にある者が集まると、自己と他者を比較してしまう）という特徴があった。さらに、その場所を利用するために必要な持ち物を忘れてしまった際に誰かが助けてくれるというように、利用者（客）相互の助け合いも挙げられた。そのほかの項目については、発表当日に報告する。

5. 考察

現在、地域における孤立防止あるいは介護予防、子育て支援など、地域を拠点とした活動が重視されている。また、地域において住民が支え合い、主体的に活動を展開するために、住民の活動拠点の設置が指摘されている。本研究では、誰もが利用することができる地域拠点には制度に基づいた場所あるいは飲食店とは異なる特徴があり、その特徴が利用理由の一つにつながっていると考えられた。地域に制度化された場所とは異なる特徴を持つ地域拠点を設置することで、相互に支え合う関係が広がることが期待される。

【文献】倉持香苗『コミュニティカフェと地域社会——支え合う関係を構築するソーシャルワーク実践』明石書店、2014年。

※本調査は2012年度科研費（研究課題番号24730488 研究代表者：倉持香苗）の助成を受けて実施したものであり、本報告は研究成果の一部である。